



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年11月6日

上場会社名 わかもと製薬株式会社 上場取引所 東
コード番号 4512 URL <https://www.wakamoto-pharm.co.jp>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）五十嵐 新
問合せ先責任者 （役職名）広報室長 （氏名）高野 浩一 TEL 03-3279-0371
半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無： 無
決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期中間期	4,382	14.9	△195	—	△175	—	△134	—
2025年3月期中間期	3,811	5.3	△276	—	△256	—	△141	—

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	△3.86	—
2025年3月期中間期	△4.08	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年3月期中間期	14,877	11,588	77.9	333.89
2025年3月期	15,002	11,610	77.4	334.53

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 11,588百万円 2025年3月期 11,610百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	3.00	3.00

直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	10,000	28.4	200	—	250	—	200	210.4	5.76

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期中間期	34,838,325株	2025年3月期	34,838,325株
-------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2026年3月期中間期	132,337株	2025年3月期	132,052株
-------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（中間期）

2026年3月期中間期	34,706,228株	2025年3月期中間期	34,706,614株
-------------	-------------	-------------	-------------

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間における経営成績につきましては、以下のとおりです。

	2025年3月期 第2四半期 (中間期) (百万円)	2026年3月期 第2四半期 (中間期) (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	3,811	4,382	571	14.9
売上総利益	1,768	1,997	229	12.9
営業損失(△)	△276	△195	80	—
経常損失(△)	△256	△175	80	—
中間純損失(△)	△141	△134	7	—

売上高は、インバウンド需要の変化もありヘルスケア事業における「強力わかもと」の売上が減少しましたが、医薬事業では供給停止しておりました「マキュエイド眼注用」の供給再開による売上増加により、43億8千2百万円と前年同期に比べ、5億7千1百万円増加しました（前年同期比14.9%増）。売上総利益は19億9千7百万円と前年同期に比べ、2億2千9百万円増加しました（前年同期比12.9%増）。

一方、販売費及び一般管理費は、リニューアルした薬用歯みがき「アバンビーズ」の発売開始に伴う広告宣伝費や、多焦点眼内レンズ「アクリバトリノバ Pro」の発売開始に伴う販売費等が増加したことにより、21億9千2百万円と前年同期に比べ1億4千8百万円増加しました（前年同期比7.2%増）。

以上の結果、営業損失1億9千5百万円、経常損失1億7千5百万円、法人税等調整額を△4千9百万円計上したため、中間純損失1億3千4百万円となりました。

セグメント別の事業概況は、次のとおりであります。

①医薬事業

医薬事業では、医療機関や卸へ医療用医薬品における適正使用の推進と安全性情報の提供及び推進を行い、MRの活動量や卸との連携をより一層強化し、4月より供給を再開した「マキュエイド眼注用」を早期に医療機関にお届けすることや、既存の後発医薬品、体外診断用医薬品の売上伸長に努めてまいりました。また、医療機器では、4月に「テノン嚢下投与針」、6月には多焦点眼内レンズ「アクリバトリノバ Pro」を発売し、医療現場への更なる貢献を目指し取り組んでまいりました。昨年10月に施行された長期収載品の選定療養の影響もあり、長期収載品の「ジクロード点眼液」等の売上は減少した一方で、後発医薬品の「カルテオロール塩酸塩LA点眼液」、「ヒアルロン酸Na点眼液」、「タフルプロスト点眼液」等の売上が増加しました。その結果、売上高は22億3百万円（前年同期比41.8%増）となりました。

②ヘルスケア事業

ヘルスケア事業では、オンライン、オフライン両軸でのお客様接点の強化、広告宣伝と連動した売り場作りを実施してまいりました。4月に「アバンビーズ」において現行品のレギュラーミントを「トータル口臭ケア」としてリニューアルし、もう一つ新商品として「知覚過敏ケア」を発売しました。また「わかもと整腸薬」のパッケージデザインを一新し、「強力わかもと」とのシナジー効果を高めました。ネットショップにおいても5月に「フェミフローラ 葉酸プラス」、「フェミフローラ 大豆イソフラボン マカ&ギャバ」を発売しました。「強力わかもと」は、動画広告、WEBディスプレイ広告、店舗販促、デジタル販促等を実施し、とりわけ若年層の認知獲得、需要の掘り起こしを行ってまいりました。一方、市場におけるインバウンド需要がモノからコトへ移行しつつあった影響もあり、売上が減少しました。その結果、売上高は11億8千9百万円（前年同期比5.8%減）となりました。

③グローバル事業

グローバル事業では、台湾などアジア圏での「強力わかもと」の販売に加え、欧米、アジア、オセアニア、中東におけるライセンスイン・アウトの活動、中国越境ECの拡大、国内外での乳酸菌事業の拡大に努めてまいりました。国内事業は診断薬のほか、問題解決型の営業手法による活動を行った乳酸菌事業において売上が増加しました。一方、海外事業は「強力わかもと」、「わかもと整腸薬」、点眼薬等は前年同期と概ね同水準で推移したものの、海外向け乳酸菌原料の売上が減少しました。その結果、売上高は8億9千6百万円（前年同期比0.9%減）となりました。

④不動産賃貸業

不動産賃貸業の主たる収入はコレド室町関連の賃貸料であります。売上高は9千2百万円（前年同期比3.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間会計期間末における総資産は、148億7千7百万円と前事業年度末に比べ、1億2千4百万円減少しました（前事業年度末比0.8%減）。これは主に、売掛金、商品及び製品、仕掛品等が増加した一方で、眼内レンズの販売開始に向けて計画的に在庫の積み増しを行ったことによる支払いや配当金の支払い等により、現金及び預金が減少したことによるものであります。また、相模大井工場設備の一部増設に伴い、1億6千7百万円を現金及び預金から支払っております。

一方、負債の部は、32億8千9百万円と前事業年度末に比べ、1億2百万円減少しました（前事業年度末比3.0%減）。これは主に、支払手形及び買掛金、未払法人税等が減少したことによるものであります。

純資産の部は、115億8千8百万円と前事業年度末に比べ、2千2百万円減少しました（前事業年度末比0.1%減）。これは主に、利益剰余金が減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は、前事業年度末の77.4%から77.9%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社はアレルギー性結膜炎治療剤である抗アレルギー点眼剤等の製造販売も行っていることから、花粉が飛散する春先を含む年度下期にかけて、医薬事業売上高が増加する傾向にあります。また、当社では相模大井工場の生産ラインメンテナンスのため、例年、年度上期に「強力わかもと」等の生産ラインを一部休止します。当社は総合原価計算を採用しているため、生産ラインを一部休止する年度上期よりも年度下期の売上原価率は良化する傾向にあります。また、当事業年度下期には、発売準備中の抗アレルギー点眼剤「エピナスチン塩酸塩LX点眼液0.1%」等の新製品による売上増も見込んでおります。2026年3月期の業績予想につきましては、2025年5月15日に公表しました業績予想からの変更はありません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年 3 月 31 日)	当中間会計期間 (2025年 9 月 30 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,954,759	1,912,210
売掛金	2,576,552	2,775,725
商品及び製品	1,963,646	2,189,613
仕掛品	294,315	383,821
原材料及び貯蔵品	791,320	911,520
未収還付法人税等	7,665	4,319
その他	319,999	214,230
流動資産合計	8,908,257	8,391,441
固定資産		
有形固定資産		
建物	8,050,466	8,120,394
減価償却累計額	△5,765,265	△5,845,778
建物（純額）	2,285,201	2,274,616
構築物	268,904	268,904
減価償却累計額	△259,376	△260,634
構築物（純額）	9,527	8,270
機械及び装置	8,767,985	8,794,880
減価償却累計額	△8,157,643	△8,219,749
機械及び装置（純額）	610,342	575,130
車両運搬具	38,323	38,323
減価償却累計額	△36,128	△36,820
車両運搬具（純額）	2,194	1,502
工具、器具及び備品	1,086,391	1,113,667
減価償却累計額	△977,442	△986,974
工具、器具及び備品（純額）	108,949	126,692
土地	82,947	82,947
建設仮勘定	214,205	345,315
有形固定資産合計	3,313,368	3,414,476
無形固定資産		
ソフトウェア	261,831	237,839
ソフトウェア仮勘定	12,204	—
その他	3,680	3,680
無形固定資産合計	277,715	241,519
投資その他の資産		
投資有価証券	1,847,919	2,165,816
保険積立金	291,529	289,263
修繕積立金	132,720	147,369
その他	262,603	259,303
貸倒引当金	△31,403	△31,403
投資その他の資産合計	2,503,368	2,830,348
固定資産合計	6,094,451	6,486,345
資産合計	15,002,709	14,877,786

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	940,683	795,563
短期借入金	100,000	100,000
未払法人税等	44,997	34,303
未払消費税等	—	12,967
賞与引当金	118,528	185,700
その他	830,564	759,238
流動負債合計	2,034,774	1,887,772
固定負債		
退職給付引当金	988,717	984,944
長期預り金	171,350	169,495
繰延税金負債	197,515	247,277
固定負債合計	1,357,582	1,401,717
負債合計	3,392,357	3,289,489
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,395,887	3,395,887
資本剰余金	2,675,826	2,675,826
利益剰余金	4,671,624	4,433,491
自己株式	△36,497	△36,583
株主資本合計	10,706,840	10,468,621
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	903,511	1,119,675
評価・換算差額等合計	903,511	1,119,675
純資産合計	11,610,351	11,588,297
負債純資産合計	15,002,709	14,877,786

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	3,811,000	4,382,206
売上原価	2,042,910	2,385,043
売上総利益	1,768,089	1,997,163
販売費及び一般管理費	2,044,771	2,192,880
営業損失(△)	△276,681	△195,717
営業外収益		
受取利息	226	1,597
受取配当金	26,028	26,450
その他	6,204	5,801
営業外収益合計	32,459	33,849
営業外費用		
支払利息	411	557
固定資産除却損	216	0
寄付金	10,979	10,302
その他	523	2,843
営業外費用合計	12,131	13,703
経常損失(△)	△256,353	△175,572
特別損失		
固定資産除却損	1,936	-
事務所移転費用	1,314	-
特別損失合計	3,250	-
税引前中間純損失(△)	△259,603	△175,572
法人税、住民税及び事業税	8,791	8,176
法人税等調整額	△126,680	△49,733
法人税等合計	△117,889	△41,557
中間純損失(△)	△141,714	△134,014

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純損失(△)	△259,603	△175,572
減価償却費	206,150	217,835
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,200	-
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△10,507	△3,773
賞与引当金の増減額(△は減少)	66,700	67,171
受取利息及び受取配当金	△26,254	△28,047
支払利息	411	557
固定資産除却損	2,152	0
事務所移転費用	1,314	-
売上債権の増減額(△は増加)	450,493	△199,173
棚卸資産の増減額(△は増加)	△153,146	△435,672
仕入債務の増減額(△は減少)	△25,261	△145,453
未収消費税等の増減額(△は増加)	57,042	87,948
未払消費税等の増減額(△は減少)	-	12,967
預り敷金及び保証金の増減額(△は減少)	△3,697	△1,855
その他	△59,816	16,869
小計	244,776	△586,198
利息及び配当金の受取額	26,254	28,047
利息の支払額	△411	△557
法人税等の還付額	22,567	7,665
法人税等の支払額	△10,608	△21,881
営業活動によるキャッシュ・フロー	282,579	△572,925
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△201,792	△341,131
無形固定資産の取得による支出	△8,756	△10,143
投資有価証券の取得による支出	△2,061	△2,236
保険積立金の積立による支出	△15,598	△12,727
保険積立金の解約による収入	11,779	14,992
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△8,749	△14,676
投資活動によるキャッシュ・フロー	△225,179	△365,923
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△37	△78
配当金の支払額	△103,310	△103,621
リース債務の返済による支出	△529	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△103,877	△103,700
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△46,478	△1,042,549
現金及び現金同等物の期首残高	3,664,647	2,954,759
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,618,168	1,912,210

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間会計期間(自2024年4月1日至2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額	中間損益 計算書 計上額 (注)
	医薬事業	ヘルスケア事業	グローバル事業	不動産賃貸業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	1,553,185	1,263,192	905,203	89,418	3,811,000	3,811,000	—	3,811,000
計	1,553,185	1,263,192	905,203	89,418	3,811,000	3,811,000	—	3,811,000
セグメント利益又は損失(△)	△644,309	230,289	106,293	31,044	△276,681	△276,681	—	△276,681

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、中間損益計算書の営業損失(△)と一致しております。

II 当中間会計期間(自2025年4月1日至2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額	中間損益 計算書 計上額 (注)
	医薬事業	ヘルスケア事業	グローバル事業	不動産賃貸業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	2,203,074	1,189,804	896,996	92,330	4,382,206	4,382,206	—	4,382,206
計	2,203,074	1,189,804	896,996	92,330	4,382,206	4,382,206	—	4,382,206
セグメント利益又は損失(△)	△445,774	129,721	86,756	33,578	△195,717	△195,717	—	△195,717

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、中間損益計算書の営業損失(△)と一致しております。